

福祉

【質】高齢者移動手段確保助成金として4万3600円支出されているが具体的な使われ方は。

【答】（福祉課）

75歳以上の高齢者及び妊産婦が利用するタクシー運賃の助成事業である。1枚2000円の補助で218枚の利用実績があった。今後とも広報等で、普及活動について利用促進に努めていきたい。

環境

【質】再生可能エネルギー関係のスマートハウスの整備促進事業補助金が当初予算345万の計上に対して約半分しか使われていない理由は。

【答】（環境上下水道課）

スマートハウスの補助金についての執行状況は令和6年度は申請件数22件、推移としては令和5

観光・経済

年度12件、令和4年度3件、令和3年度4件となっており、近年、国内での省エネだとか再生可能エネルギーの推進という周知もあつて、ここ数年で急激に増えている。

【質】電気自動車の購入補助金についてはどうなるのか。

【答】（環境上下水道課）

電気自動車の購入補助金については、もともと避難所の数に応じて20件程度配置することを目的としていたので、26件という当初の目的を達成し、補助金のめども立ったので終了した。

【質】アーバンスポーツ（都市型スポーツ）はどのようなのか。

【答】（環境上下水道課）

アーバンスポーツのスタート台を購入し、設置する予定である。

【質】鳥獣防除対策事業の中で、報償費として7万5000円支出されているが、鳥獣ごとの内訳はまた、報奨金について他町は当町より高いという話を聞くがいかがか。

【答】（観光経済課）

タヌキ、ハクビシン等の小動物は1頭3000円、シカ、イノシシの幼獣は6000円、成獣については7000円となっており、報奨金については国の交付金を用いて他町と単価を合わせている。

【質】クマスプレー購入補助金として2万8100円執行されているが内訳は。また、クマは神奈川県

の保護獣になつていて対応が難しいと思うが、今後どのような対応が考えられるか。

【答】（観光経済課）

クマスプレー購入補助

金については、昨年度7名の補助をしている。今年度は、昨年度に比べツキノワグマの発見情報が増加している。中山間地は、山林の荒廃が多くなり、山林に手が入らなくなっている影響で人里に下りて来るケースが多くなっていると思われる。このため、人里に侵入するのを防げるよう、緩衝帯を設けるなどの予防対策について普及啓発を図っていく。

【質】特産品開発事業補助金、20万円はどのようなものに使われているのか。

【答】（観光経済課）

将来、松田ブランド認定を目指す特産品の開発に対し補助している。補助内容は、研究開発費、事務費や消耗品費で年度実績は1件であった。

【質】新規就農者等担い手支援事業補助金の予算額は90万円であったが決算額が35万8000円と

なった内容と、農業支援隊活動補助金が予算額20万円であったが支出がなかった理由は。

【答】（観光経済課）

新規就農者等担い手支援事業補助金は、昨年度6名の申請があり、当初の見込みより少ない申請であった。農業支援隊活動補助金については、制度設計の精査をしてから今年度補助金申請の対応をしていく。

【質】みやま運動広場人工芝化1億4000万円の支出の工事で、工事実施の際、マイクロチップ流出懸念の声が多くあったが、これまでの対応と、エアブラシの活用状況は。また、PFAS（有機フッ素化合物）の関係で水質汚濁が懸念されていたが、どうなっているのか。

まちづくり

【質】新松田駅北口地区市街地再開発事業支援及び設計委託料3565万7000円の内訳は。

【答】（まちづくり課）

市街地再開発事業の都市計画決定に向けた準備組合の活動支援が約2180万円、都市計画決定にかかる駅前広場、道路やペDESTリアンデッキの基本計画の検討にかかる経費約1380万円である。